

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都港区六本木 6-5-27
園名	リトルパルズ保育園六本木

1 活動のテーマ

<テーマ>

音・表現

<テーマの設定理由>

遊びや生活の中で歌や手遊びを好み、意欲的に音に触れて遊ぶ姿が多く見られていました。

2 活動スケジュール

・楽器遊び、モフン(リトミックや活動も含む)

→9/19、10/24、11/21、12/19、1/23

・リトミック→12月～3月までの毎週金曜日

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境設定

- ・楽器や音の鳴る玩具を玩具棚に設置し、いつでも手に取れるようにした
- ・遊びや生活の中で身近に音に触れる機会を設け、年度末の発表会では音で表現する姿を披露する機会を設けた
- ・子どもたちの発見に共感し、受け止めながら活動を展開した
- ・より音に触れて活動ができるようリトミックの活動を取り入れた

準備物や素材

- ・楽器(鈴・タンバリン・マラカス・ピアノ・メロディーゴーラウンド・ミュージックパッド)
- ・モフン、シフォンスカーフ

4 探究活動の実践

<活動の内容>

楽器遊び

活動の時間や自由遊び、合同保育の時間など、子どもたちの手の届く場所に設置し、音を出すことや音の違いに興味を持って遊んでいた。

発表会

楽器に触れて遊ぶ機会を通し、発表会の一部に楽器演奏を取り入れた。

リトミック

毎週金曜日に30分の活動時間を設け、講師と共に様々な音楽や楽器に触れて遊んだ。リトミック活動に意欲的に参加しており、音に合わせて身体を動かすことを楽しんでいた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・様々な楽器に興味を持ち、好きな時間に触れて遊ぶ姿が見られた。それぞれの楽器で出る音が違うため、繰り返し好きな音を鳴らす姿も見られた。はじめはすぐに飽きる姿もあったが、保育者が違う鳴らし方をしたり、音を変えたりするとまた興味を持ち、自分でやってみようとしていた。特にミュージックパッドは感触や音に惹かれる姿があり、手足や物で音を出すことを楽しみ、長い時間じっくりと遊んでいた。

・12月から活動に取り入れたリトミックは、音楽に合わせて身体を動かしたり、初めての楽器に触れたりする機会があり、子どもたちも意欲的に参加して楽しんでいた。シフォンスカーフや卵型マラカス、フープなどで音に合わせて表現する活動では、全身を使って楽しむ姿が見られた。

・約半年を通して音に触れ、年度末の発表会では曲に合わせて楽器を鳴らす姿を保護者に披露する機会を設けた。

5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動という括りより、自由に手に取って遊ぶ環境を大切にできたことが良かった。乳児クラスなりに子どもたちの「やってみたい！」に耳を傾け、様々な楽器、音への興味を引き出すことができた。

園として大切にしている五感を刺激することを、すくわくの活動を通して大切にしている取り組みなのではないかと感じる。

